

どの小学校を選ぶべきか？



現在近畿圏にはいくつかの国立・私立小学校があります。その中で岸和田ほか泉南などの南大阪在住の子供たちが通える主な小学校は賢明学院、帝塚山学院、はつしば学園、智辯和歌山、そして大阪教育大附属天王寺(ただし通学区域は岸和田が南限と思われる)などです。稀に大阪市内の追手門学院、城星学園に通学する卒業生もいます。

学校の選択要素としてはこうした「通学」のほかに6年後、さらに12年後の「進路」も考慮に入れなければなりません。以下は私どもが長年にわたり輩出してきた卒業生の進学後の動向を基にまとめたものです。

小学校受験を考えておられる方は以下のような理由です。

- ① 将来は東大、京大などの国立難関校や医歯薬系に進ませたい。
- ② 情操教育を大切にしたいので受験を経験せずに併設の大学に進ませたい。
- ③ 礼儀やしっかりした学習習慣を身につけ有意義な小学校生活を送らせたい。
- ④ 進学にとらわれず豊かな人間性や個性を育てたい。

上記の以外にも、地元の教育事情に対する不安などもありますが、このような理由だけでの受験は感心しません。では、6年間の小学校生活でどんなことが体験できるのか、また将来の進学という中長期ビジョンをも検証してみましょう。

帝塚山学院

大阪・住吉区

当塾では過去の受験において大変進学者が多い学校です。食育など家庭教育を大切にしています。入試に「給食」があるのはそのためです。学校行事も多彩で子どもにとって楽しい学校生活というイメージをもたせます。併設校の帝塚山学院中学には「関学コース」があり関西学院大学への推薦制度があります。また、帝塚山学院泉ヶ丘中学にも推薦制度があります。両方とも推薦されても外部生と同じ入学試験を受けなければならず成績結果により上のコースへのグレードアップもあります。いずれの推薦も6年生の11月頃に許可されます。

賢明学院

堺市

カトリック教育を母体とした**厳格な人間教育**に定評があります。国語の指導が伝統的に優れていて読書、作文などを通して低学年から国語力を育成しています。大半は外部の難関校を受験しますが、中高の共学化を図り近年進学指導に力を入れています。岸和田校では過去の入試で最も多くの合格者を輩出した学校です。難関中学・高校を経て京大、阪大に進んだ卒業生も少なくありません。なお、今後カトリック系の中学と**指定校推薦制度**も進むと思われます。

はつしば学園

堺市

他の私立に比べて自由で伸び伸びした学校生活をめざしています。1クラスの人数も30名余りと少なめです。何と云ってもこの学校の最大の特長は**併設中学の推薦を得ながら外部の中学の受験**ができることです。仮に外部受験に失敗しても併設の中学が受け皿となります。併設校としては初芝富田林、初芝橋本、初芝堺があります。初芝堺には「立命館コース」があり立命館大学への推薦制度があります。一方、大阪星光、東大寺、西大和、清風南海、四天王寺などの難関校をめざす生徒も少なくありません。外部受験をめざす生徒には放課後に補習(通称ロング)がありフォローしています。

智辯和歌山

和歌山市

近畿圏では珍しい**12年間一貫教育**です。したがって全員が智辯和歌山中学に進級できます。逆に言えば外部受験が認められていないことになります。学習面では他の私立に比べかなり厳しく学習進度も早く、高学年では定期的に「実力テスト」が行われます。進級後のクラスはこのテストの結果と入試当日に外部生とともに受ける入学試験の結果で決まります。**夏休み、冬休みの期間が短く**、その分学習指導が充実していると終わるでしょう。12年間というリスクはありますが中学受験(現状の偏差値64)を考えるとお勧めの学校でしょう。

大阪教育大 附属天王寺

大阪・天王寺区

文科省の傘下にある大阪教育大学附属の実験校です。通学時間により**通学区域**が限定されていて学校から40分(天王寺から20分)が原則です。以前は受験時に寄留して入学後に自宅通学するケースもありましたが近年厳しく罰せられます。また、中学に進級する際に「**振るい落とし**」があり下位の30%近くは上がることができません。ただし上位の中には難関校をめざす生徒もいますが賢明やはつしばほど多くはありません。学習指導には特徴があり、算数ならば解法に重点を置くなど受験学習とは一線を画すところもあります。ノーベル賞受賞者や俳優、お笑い芸人など多彩な人物を輩出しています。ただし、大学受験に焦点をおくならばあまり勧められません。

以上は受験の際に卒業生から寄せられた「受験アンケート」のほか卒業生の動向、そして校長先生も含む学校関係者との雑談を通して私なりにまとめたものです。多少主観的なところもありますが学校選びの参考になれば幸いです。なお、上記のほか追手門学院、四天王寺学園、城星学園、城南などにも合格者がいますが人数も少なく提供できる資料も限られるため今回は割愛しました。